

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

| | |
|-------------|---|
| NITS・教職大学院等 | 実施機関名・連携機関名 島根大学・島根県教育委員会／鳥取県教育委員会 |
| コラボ研修プログラム | テーマ： 若手教員の育成・支援を推進するミドルリーダー教員研修 —対面／非対面を併用したハイブリッド型研修における学びのあり方の検討— |
| 支援事業報告書 | 研修等名： 【NITS・島根大学コラボ研修】「若手教員の育成・支援を推進するミドルリーダー教員研修」（後期日程） |
| | 開催日時：令和3年11月25～26日8時30分～17時15分 開催場所：島根大学教育学部附属山陰教員研修センター（島根県松江市大輪町416-4） 参加人数（総数）と参加者の属性：22人（学校教員20人、教育委員会等2人）[うちオンライン参加2名] |

内容： ※全体発表の内容をテーブル起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

実施した研修の日程は右の表の通りである。初日（25日）は100分×4コマの研修に加えて、30分の自己研修の時間を設定した。最終日（26日）は100分×3コマの研修を行った。それぞれの時間の具体的な内容は以下の通りである。

11月25日（木）および11月26日（金）の1コマ目：各日程では、それぞれの観点の専門家に講師を依頼し、最先端の教育の動向や改革について具体的な事例を交えながら、研修を実施して頂いた。

25日（木）の自己研修：個人研修（ワークシートへの記入：15分）に加えて、5人グループで各日の研修の学びを共有した。

11月26日（金）の2・3コマ目：事前に設定した各学校で取り組むPBLの課題について、各受講者が20分間（報告10分／質疑応答10分）の発表を行い、今後の各自の課題を設定した。

[受講者の報告の一例の抜粋]

■「居心地のよい職場作り——若手の育成と多忙感の軽減——」（課題）

⇒6つの取り組み（①職員会での提案発表(研修報告)とアンケートの実施、②校内のサポートスタッフとの連携、③業務分担の見直しと若手の起用、④ICTの活用、⑤帰宅時間の見える化、⑥会議の持ち方の工夫）を行った。

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

◆研修終了後のアンケートでは、満足（「満足した」「だいたい満足した」と回答）した者の割合は95%であった。また、研修内容について現場での活用予定がある者は100%であった。

◆受講者の学びの一例は以下の通りであった。（受講者のワークシートより抜粋）

「内容がパンパンでまだ消化しきれていないのが率直な感想です。また何回も見直したり、少しずつできることをやってみたりしながら、自分のものにできたらと思っています。」

「はじめは、zoom すらままならなかったですが、細やかな対応をしていただきありがとうございました。おかげさまで、formsも使えるようになりました。こんなことも自分の成長だと感じています。」

アイデアや工夫したこと： ※3～5つ程度の箇条書きしてください。

・離島からの参加者について、天候状況により急遽、対面での参加できない状況となったが、同期型オンラインを活用し研修に参加頂き、受講機会の確保に努めた。

・最終日において前期日程で設定したPBL（問題解決学習や課題設定・達成学習などプロジェクト学習）の進捗状況を報告し、今後の課題を設定することで、PBLによる次の改善のサイクルに繋がった。

・最終日の活動では、受講者3名に対して1名のファシリテーター（大学教員）を配置することで活動を円滑に進めることができた。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

表 日程表

| (後期) | |
|--|--|
| 11/25(木) | 11/26(金) |
| 集合 | |
| <p>★山陰の教育ビジョンを描く ★教育改善のための理論と方法 「学校の教育目標とカリキュラム・マネジメントの実践」</p> <p>島根大学 教育学部 教授 深見 俊崇</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター</p> | <p>★若手が育つ学校づくり 「教師の成長とフレクション(省察)～現状を評価し次の課題解決につなぐ～」</p> <p>島根大学大学院 教育学研究科 准教授 久保 研二</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター</p> |
| <p>★山陰の教育ビジョンを描く ★教育改善のための理論と方法 「学校の教育目標とカリキュラム・マネジメントの実践」</p> <p>島根大学 教育学部 教授 深見 俊崇</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター</p> | <p>★課題設定演習 「実践報告と課題の再設定」</p> <p>島根大学大学院 教育学研究科 准教授 久保 研二、中村 伸詞 学内教員(ファシリテーター)</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター</p> |
| 息休憩(12:05～13:00) | |
| <p>★若手が育つ学校づくり 「若手を育てるためのコーチングとフィードバック」</p> <p>(財)地域・教育魅力化プラットフォーム 理事・会長 水谷 智之</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター(講師のみオンライン)</p> | <p>★課題設定演習 「実践報告と課題の再設定」</p> <p>島根大学大学院 教育学研究科 准教授 久保 研二、中村 伸詞 学内教員(ファシリテーター)</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター</p> |
| <p>★若手が育つ学校づくり 「若手を育てるためのコーチングとフィードバック」</p> <p>(財)地域・教育魅力化プラットフォーム 理事・会長 水谷 智之</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター(講師のみオンライン)</p> | 閉講式 |
| <p style="text-align: center;">自己研修 (復習・意見交換・予習)</p> <p style="text-align: right;">山陰教員研修センター</p> | |



図 参加者の様子 (11月26日)
(※撮影時のみマスクを外し、それ以外の場面では感染症対策を徹底した。)